



幼児教育センターだより

No.7

富山県教育委員会 教育みらい室 小中学校課
富山県幼児教育センター

9月には、保育・学習参観を行った第3回・第4回の幼児教育接続研修がありました。

第3回幼児教育接続研修会【堀川幼稚園】

- 【実施日】9月17日（水）
【参加者】接続研修受講者 18名
【内 容】
1. 5歳児保育参観
2. グループ協議



- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を視点に子どもを見ると、様々な育ちが読み取れる。その育ちをさらに伸ばすためには、子どもの思いを受け止め、引き出す保育者の存在が欠かせない。今回一緒に感動し、喜びに涙する保育者の感性が素敵だと感じた。幼児期の「心が動く」多様な体験が、小学校へ繋がっていくことも実感した。

（リーダー・認定こども園教頭）

- ・生活科の教科書を見て、学校での学びは園で子ども達が経験することの延長にあること、楽しく遊んだ体験や感じたことが、学校で知識に置き換わると感じた。

（アドバイザー）

第3回幼児教育接続研修会【津沢こども園】

- 【実施日】9月30日（火）
【参加者】接続研修受講者 17名
【内 容】
1. 5歳児保育参観
2. 給食参観
3. グループ協議



- ・遊びの場面を捉えて、学びを幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)に置き換えることは慣れてきているが、自分の言葉にして話す演習で悩んだ。しかし、グループで話し合い、小学校の先生に伝える言葉を決める中で、考えがすっきりした。相手に分かる内容で伝えるだけでなく、他のグループの発表を見たり、実践してみて改善点はないかを振り返ったりする過程は、大変学びがあった。

（リーダー・認定こども園副園長）

- ・私達の保育の見取り、学んだこと、保育の意味付けを小学校に発信して理解してもらうためのスキルを身に付けたいと思った。

（アドバイザー）

第4回幼児教育接続研修会【富山市立西田地方小学校】

- 【実施日】9月9日（火）
【参加者】接続研修受講者 20名、西田地方小教員
【内 容】
1. 1年生活科の学習参観
2. グループ協議



- ・授業では、子ども一人一人が思いや願いをもって活動に取り組んでいた。試行錯誤する中で、友達同士が言葉で伝え合いながら学びを深めていく姿等が見られ、幼児期の経験が繋がっていると感じた。幼児期の遊びを大切にしていきたい。

（リーダー・保育所長）

- ・小学校では、各自が目当てをもって取り組む中で学びを得ていくが、その根底にあるのは先生との信頼関係であり、わくわくと心が動く中での学びであることが大切だと感じた。幼児期に愛着関係を形成し、主体的に遊ぶ経験が、小学校の学びに繋がっていることを実感した。

（リーダー・幼稚園長）

架け橋期の教育の充実を目指して

今年度の接続研修は、小学校の学習参観を取り入れ、幼・小の遊びと学びのつながりについて研修しています。小学校の学習を参観するときは45分間のねらいや、ねらいを達成するための手立て、単元全体の計画（単元構想）等について事前に説明しています。

第4回幼児教育接続研修（富山市立西田地方小学校）の協議では、「保育のプロ」である受講者から「決められた時間の中でねらいを達成する大変さ」や「学級の誰一人欠かすことなく、子どもが課題に取り組むための教師の計画の緻密さ」について語られ、実りの多い研修会となりました。

幼児教育と小学校教育は、子どもの発達の段階に応じた保育・教育となるため、「幼児（小学

校）教育とは違うから、理解が難しい」と思われがちです。しかし、要領等に示されているように、目指す方向は同じで、幼児教育はその後の生活や学習の基盤となります。そのため、互いの取組を尊重し合い、理解を深めていくことが、幼保小接続にとって大切なことであると考えます。互いの理解を深めていくためには、まず、それぞれの保育や授業を知ることが大切です。来年度の行事や研修計画を立てられるときには、ぜひ、保育・学習参観を加えてみられることをおすすめいたします。



〈10月の主な予定〉



3日（金）第3回幼児教育研究会

7日（火）第4回幼児教育接続研修会
（魚津市立清流小学校）

16日（木）第2回
園長等運営管理協議会

22日（水）新規採用教員研修会
（富山大学教育学部附属幼稚園）

- 今月は 13 回の訪問研修を予定しています。
- 幼児教育接続スーパーバイザーによる、小学校での就学時健康診断「親学び講座」を3校で実施します。

園内研修いろいろ

接続研修（保育参観）では、参観で捉えた子どもの姿を付箋に書き、協議会で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と関連付けて整理しています。整理の視点を紹介します。

- ①活動の時系列に沿って
- ②幼児教育の終わりまでに育ってほしいの姿の項目ごと
- ③一つの場面に絞って
- ④一人の子どもに絞って
- ⑤子どもの姿が見えた背景（保育者との信頼関係の構築、居心地のよいクラスの雰囲気 これまでの経験を活かして など）

例えば、③では、「一緒に遊んでいるように見えても、その中の個々の子どもの育ちは混在している」こと、④では、「同じ子どもを見ていても、参観者によって育っていると捉える姿が異なっている」ことが見えてきました。

「多くの意見を取り入れるために付箋を使う」だけでなく、「どんな視点で付箋を書き、どのように整理するか」について考えることは、協議を充実させるためにとっても大切です。

